

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	127	商店街ステップアップ支援					
章	4	にぎわいと魅力あふれるまち					
大項目	03	魅力ある地域商店街づくり					
施策	01	商店街の活性化					
事業内容							
目的	商店街を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、商店会が自主的に取り組む調査・研究等の事業に対して、その経費の一部を助成し、商店街の活性化、自立化支援を図ります。						
対象・手段	区内商店会が自主的に取り組む研修事業、プラン策定事業、商圈拡大、商店街PR事業等に対して助成します。(補助率:補助対象経費の2/3、補助限度額:30万円)						
成果(事業が意図する成果)							
商店会が地域に密着した事業(商店街のマップ・ホームページ作りなど)に主体的に取り組むことを区が支援することにより、商店街の活性化が促され、まちの活性化につながります。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
補助事業実施件数	商店会に対する補助金交付予定件数	(毎) 年度に					
		(7件) の水準達成					
補助事業実施効果度	商店会に対するアンケートで、「期待どおりに大いに効果がある」及び「まあまあ効果がある」と回答を得た事業の割合	(毎) 年度に					
		(100%) の水準達成					
		() 年度に					
		() の水準達成					
成果の達成状況							
	単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
事業 成果 指標	目標値1	件	7.00	7.00	7.00	7.00	アンケートは、平成17年度から実施
	実績1	件	4.00	5.00	4.00	3.00	
	= /	%	57.14	71.43	57.14	42.86	
	目標値2	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
	実績2	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
	= /	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	事業補助金の支給:実績件数4件 関連事業:「商店街ステップアップフォーラム」の開催						
平成18年度	事業補助金の支給:実績件数3件 関連事業:「商店街ステップアップフォーラム」の開催						

部名称		地域文化部		課名称		商工観光課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	984	1,130	812	696	
	人件費	千円	0	0	0	19,240	
	事務費	千円	15	12	11	7	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	999	1,142	823	19,943	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	999	1,142	823	19,943	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	507	577	417	19,595	
	特定財源		492	565	406	348	
	一般財源投入率 /	%	50.75	50.53	50.67	98.26	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.00	2.00	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	1.00	
事業に関する検討課題							
<p>商店会に対して、事業内容を説明するとともに、「ステップアップフォーラム」で、具体的な成功事例・活動報告等の情報提供を行い、より効果的に事業が行われるよう支援していくことが必要です。</p> <p>また、区が積極的に商店会の現状に合わせ助言し、商店会の自主的な取組みをさらに進めていく必要があります。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	平成15年度から創設した支援事業であり、活用方法の浸透を図りながら、ほぼ計画どおり実施しています。ステップアップフォーラムを活用し、商店会の自主事業の成功例等を情報提供していく必要があります。				
	効率性	3	東京都の補助事業と連携し、区が商店会の自主的活動に支援することで、効率化を図っています。				
	実施の成果	3	事業実施後の「事業効果アンケート」で、『期待どおりの効果が得られたか』の質問に対して、実施した商店会のすべて（3商店会のうち3件）が効果があったと回答しています。				
	行政の関与	2	消費者ニーズの変化、景気の低迷等、商店街を取り巻く環境の変化が激しい状況の中で、商店会自らが社会の動向をつかみ、変化に応じた事業を柔軟に行うためには、区の支援は必要です。				
	妥当性	2	商店会に対し、本事業の目的が商店街の売上向上や商圈拡大等を図るための支援であることを積極的に周知し、説明の機会を増やす必要があります。また、商店会の自主活動を支援することで商店会の組織強化を図り、商店街の活性化につながります。				
	施策寄与度	3	商店会活動を来街者や地域に広めることができます。また、これからの商店街活動の方向性や活性化に向けた基礎づくりができます。				
総合評価	本事業を活用することで、地域住民の商店会に対する認知度が上がるなど一定の成果が上がっています。商店会が自らの商店街の特性を活かした活動や地域資源を見直す取組みを行うことにより、商店会の組織強化、地域コミュニティとの連携を図ることができ、商店街の活性化につながっています。						B 過年度評価
							17年度 B 16年度 A 15年度 14年度
改革方針	現在は、主にHP作成や商店街マップ作成等の商店街PR事業として活用されています。						方向性
	<p>今後は、『まちづくり』に視点を向けた勉強会、マーケティング調査等、商店会の様々な取組みについて情報を提供し、より効果的な支援策となるよう、積極的に助言等を行う必要があります。</p> <p>「ステップアップフォーラム」で商店会サポーター制度と連携させ成功事例を紹介し、また、事業内容について相談できる場を設けることにより、商店街活性化事業として効果を高めていきます。</p>						2 手段改善